

2018年 **クイーン倶楽部だより** 9月号 第187号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail office@eco-rice.jp

西日本豪雨災害で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます
被災地域の安全の確保と、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

30年産 **新米** 今年の新米、お届けまであと少し!



8月17日の
田んぼの様子



今年は猛暑が続いた上に降水量も少なく、米の品質にどのような影響が出るのか心配されます。稲刈りの時期も昨年より早まりそうです。10月には皆様に獲れたての新米をお届けできるよう、準備していますので、もうしばらくお待ち下さい!



中村 信也 (なかむらのぶや)
医学博士。東京家政大学名誉教授。まほろば東京クリニック院長。
「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者。

ドクター "N" の 私にも一言言わせて

その 41

※ドクター…英語で博士の意味

真夏の祭典を楽しもう

二千二十年東京オリンピックとパラリンピックが七月二十二日から九月六日まで行われます。正に真夏の祭典で、猛暑シーズンです。なぜ、このばか暑い時期に実施されるかというと実況中継の視聴率が最も高く見込まれ放送権がたつぷり稼げることによります。

オリンピックは夏と冬の祭典があり、夏は真夏、冬は真冬という原則がありますので、日程は致し方ないことです。オリンピック関係者は、どうやって選手・観客の熱中症を防ぐかに頭を痛め、夏時間導入、早朝繰上げ、夕刻繰り下げの発想で毎日喧々諤々の日々かと存じます。

しかし、庶民はもつとしたかに考えねばなりません。どうしたら日本の猛暑を楽しんでいただき、お金を落とすしていただくかの発想となります。

私は二年間アフリカの北緯四度のコートジボワールのアビジャンに二年間生活していました。そこは年平均気温三十度、湿度百パーセントの生活でしたが、東京の夏の方が遥かに暑さ地獄を感じます。日本の夏は気温・湿度が高く欧米人には相当な苦痛らしいです。夏は灼熱地獄の日本を避けて東南アジアに出かけられる欧米人を目につきます。

さほどの猛暑夏ですので、我々民間人はこの暑さを逆手にとるしかありません。まずは来日なされた方々に日本の猛暑を楽しんでいただく、名付けて「Enjoy an inferno Japanese summer」作戦です。これでもかというぐらい猛暑の日本生活を体験させるものです。かき氷、冷やしラーメン、ソーメン流し、屋上ビヤホール、露天風呂、盆踊り、お化け屋敷、熊谷詣で、花火、納涼船、滝打たれ、打ち水、お台場海浜公園など種々味わってもらいます。

元手がいらす手軽だと思えます。実施したい会社があったら是非お声をかけてください。